

Microlon

COMMUNICATION NEWS Vol.3



エンジンが目覚める、エンジンが喜ぶ。

Microlon®

マイクロロン Since 1964

http://www.microlon.co.jp/



KYOWA DEVELOPING & MATERIALS INC. 2-14-4, Sekimachi-Higashi, Nerima, Tokyo, 177-0052 03-3929-8581

これはすごい！エンジンの力強さが戻って来る 新商品：マイクロロン ガス トリート・・・燃料系トリートメント



モーターサイクルドクター SUDA

燃料系を強力に洗浄し、コーティング

エンジン用で定評のあるマイクロロンの強力な洗浄作用で車の燃料系をしっかりと洗浄します。近年はアイドリングストップやハイブリッド車など、エコモードのエンジンが増える中、燃料インジェクターの内部や先端部、インテークバルブのスカート部にカーボンデポジット、スラッジがたまりやすくなっています。マイクロロンガストリートに添加することでこれらの燃料系の汚れを洗浄除去し、金属表面にごく薄いコーティングを形成して、汚れを付きにくくします。燃料の流れをスムーズにし、吸気スワールを正常化することで燃焼を理想的な形にします。パワーアップや燃費の向上に役立ちます。一度の処理で約一万kmまたは一年間、効果が持続します。

効果効能

- 燃料系の洗浄、表面コーティング
- 吸気スワールの正常化
- 燃料噴射の正常化
- 燃焼室の清浄化
- 燃焼の理想形の実現
- 燃費の改善
- パワーアップ
- よりクリーンな排気ガス

●モーターサイクルドクター SUDA

「すごいねー！こんなに変わることは！」
注入後200km走行するまでに、だんだんエンジンが力強くなってきた。これはエンジンの圧縮力が回復してきているためと思ふよ。スラッジの除去など洗浄効果とコーティング効果が発揮されているのではないだろうか。



7月5日混入前：カーボンのデポジットでほぼ全ピストンヘッド

8月9日200キロ走行後：刻印が見えるまでカーボンデポジットが減少

7月5日混入前：カーボンデポジットでバルブ底の刻印が不鮮明（径の大きい方が吸入バルブ）

8月9日200キロ走行後：刻印が見えるまでカーボンデポジットが減少。点火プラグ、排気バルブ付近で顕著

エンジン実証テスト

3万キロ走行のスーパーカブのエンジンを選択してテストを実施。スーパーカブの49ccのエンジンは3.7馬力となっている。キャブレター仕様なので今どきのインジェクター仕様のエンジンに比べて出力は控えめに映るが、同じ空冷エンジンのポルシェ911/1975年のエンジンとリッター当たりの出力は近い。
3万キロ走行でかなり汚れているように見えるが、マイクロロンガストリートを注入後、エンジンの力強さが回復してきたのは驚異。注入前と注入後200kmの比較写真以上に、効果が体感できる。

「GASTREAT」を使用する事で、燃料ポンプやインジェクターの寿命も伸ばす事が可能なので、コスト面でもメリットを感じています。

小原

「GASTREAT」に限らず全てのマイクロロン製品を、新車の状態、もしくは新品の部品に対して施工しています。良いコンディションの時に施工して、良い状態を維持するという目的で活用しています。

「GASTREAT」についても新品の状態です。施工して以降、以降燃料系のトラブルの心配が無くなり、レースに集中する事が出来ます。

シーズンの中盤に、後半戦に向けて再度施工するのが毎年のルーティーンです。

●小原レーシングサービス 全日本ロードレース選手権参戦中

●近畿ジムカーナ チャンピオン 辰巳選手



エンジンのツキがよくなった。エンジンの力がよくなった。エンジンの力がよくなった。エンジンの力がよくなった。

●全日本ジムカーナ参戦 ドライバー 梅村選手のインプレ



まず、ガソリン注入口から入るだけと処理がとて簡単。そして、処理後、いつもより静かになったと感じる。ジムカーナ走行でも、エンジンがよく回ると実感。

USER REPORT-1



セドリックプロアム LPガス車 平成4年式 走行距離：591,000km
現在燃費7km/L パーマラックスも使用しているのでピカピカ！
「霞ヶ浦ふれあいランド」にて。後ろに見えるタワーの展望台からは360度の絶景が楽しめる。

マイクロロンのおかげで59万km 上り坂のストレスもすっかりなくなり、長距離の運転も疲れない

Mさんはタイのプーケットを旅行した時、ライフルの射撃をやった経験があるので、ライフル銃の銃弾発射時の衝撃の大きさをよく知っています。マイクロロンを銃身に処理することで、発射時の衝撃が和らぐというマイクロロンのすごさは想像できたとの事。また、くわえて

1. 軍隊などでの使用が認められている「ミルスベック」をクリアしていること。
2. エンジンオイルなしの走行テストが実際におこなわれている。

など、信頼性は高く感じるといいます。

愛車セドリックは、30万キロメートル時、坂道での登坂力がめっきり落ちた。友人の勧めで茨城県のフェラーリの専門店でありマイクロロンの認定ショップである「デイノ」にマイクロロンを買に行った。

「マイクロロン注入後、エンジンの振動が少なくなったので、なにより長距離運転が疲れない。仕事の関係上、新潟と茨城をたびたび往復する必要があったが、知り合いが持っていたものを捨てようと思っていたところ、みごとに復活したが、ある時盗まれてしまったなどのエピソードもある。

本当に良い商品なので、友人に紹介でき、マイクロロンで人と人の繋がりを作ることができる」

簡単！強力撥水！万能！

くるまを丸ごとコーティング

Permaluxe.

楽々ピカピカ



“元祖”液体スーパーワックス 即戦力!



由良拓也のルマン24こぼれ話

実はメカニックもめちゃくちゃハードワーク

今年のルマン24時間レースは残すところ2周でトップを快走するトヨタ5号車が劇的な展開を迎え終わりましたね。マシンは最後の最後でネを上げましたが、ここまで来るのにスタッフも大変な苦労をしているのです。自分も2008年にチーム監督としてルマンに参加したので、今回はメカニックのハードワークのお話しをします。

ルマン24時間レースは前の週に行われるテストデーから始まり、ピットの設置、食料や用品の買い出しと準備に追われる。

そしてレースウィークの初め、「月曜日と火曜日」の二日間にわたる車検が大変。サーキットから離れたルマン市街の中心にあるジャコパン広場と言う場所を使い車検は一般公開で行われる。レース車両をトレーラーで運ぶのだが、だいたい時間を指定されるんだけど、毎回3〜4時間は待たされるのは当たり前。サーキットの中でやってくれれば楽なだけけど、これも一つの大きなイベントだからね。

「水曜日」はいよいよ予選だ。これは夕方18時〜20時と21時〜23時までの2回行われる。なんでこんな時間？と思われるだろうが、この時期のルマンは日没がだいたい22時頃なので、昼間の予選と夜の予選と言うわけだ。しかもベストタイムは気温の下がる初日の22時過ぎにマークされるので気が抜けない。予選が当日の夜だからと言ってもスタッフの仕事はいつものように午前9時には始まっており、さあ今日の事は終わり？と言う時間から予選開始。23時に予選が終了したらマシンの点検をして翌日の2度目の予選に備え、午前2〜3時にやっと終了。もちろんトラブルやクラッシュなどしてたらエンドレスだ。

「木曜日」を迎えたら、また9時から整備開始、いろいろな準備で夕方予選を迎え、そして23時終了。何もなければ24時に終わるかな？

「金曜日」は土曜日にスタートするレースの準備のための休日。と言っても、二日間、8時間にも及ぶ予選の後なので、マシンの完全メンテナンス、エンジン交換などやる事は一杯！

「土曜日」はいよいよレース当日。いつものように9時からスタンバイ、レーススタートの午後3時まで、なんだかんだで

「水曜日」はいよいよ予選だ。これは夕方18時〜20時と21時〜23時までの2回行われる。なんでこんな時間？と思われるだろうが、この時期のルマンは日没がだいたい22時頃なので、昼間の予選と夜の予選と言うわけだ。しかもベストタイムは気温の下がる初日の22時過ぎにマークされるので気が抜けない。予選が当日の夜だからと言ってもスタッフの仕事はいつものように午前9時には始まっており、さあ今日の事は終わり？と言う時間から予選開始。23時に予選が終了したらマシンの点検をして翌日の2度目の予選に備え、午前2〜3時にやっと終了。もちろんトラブルやクラッシュなどしてたらエンドレスだ。

「木曜日」を迎えたら、また9時から整備開始、いろいろな準備で夕方予選を迎え、そして23時終了。何もなければ24時に終わるかな？

「金曜日」は土曜日にスタートするレースの準備のための休日。と言っても、二日間、8時間にも及ぶ予選の後なので、マシンの完全メンテナンス、エンジン交換などやる事は一杯！

「土曜日」はいよいよレース当日。いつものように9時からスタンバイ、レーススタートの午後3時まで、なんだかんだで



1回目の予選が終わって次の予選までに腹ごしらえ兼、作戦会議。食べているのは自チームケータリング製のカツ丼。こういうスチュエーションで食べる和食はほんとうに元気が出ます。C.メカの渡辺さんと一緒に。

「最終日の月曜日」朝から荷物をコンテナにまとめて出荷の準備。早く帰って眠りたい…。

と、こんな感じ、ルマンウィークは本当に大変な一週間なんです。

USER REPORT-2

北九州市障害者陸上競技倶楽部

軽量ホイールとマイクロロン効果で1秒短縮！

北九州を拠点として、障害者陸上を広めたいという想いから活動を始めました。ひとりひとり、目指すものは違いますが、一緒に、そして本気で陸上を楽しんでみませんか・・・

日本パラ陸上競技連盟育成選手育成選手となった倶楽部所属の笹原拓歩選手の車いすのホイールを軽量化し、マイクロロン処理を行なったら、100mの記録が1秒短縮。タイムが18.828秒から17.619秒になった。感触的にも滑走時に距離が伸びる手応えがあるそうだ。初期の加速がスムーズになった事がグラフからも読める。



EVENT 情報

2りんかん祭り2016

8月28日ふじてんリゾート

あいにくの雨模様にもかかわらず、沢山のご来店有難うございました。



オートモビルカウンスル2016



8月5、6、7日、幕張メッセ



Microton 及び Permaluxe のユーザーに多数で来ていただき、「これからも愛用しますよ」と温かいお言葉をいただきました。ありがとうございます励みになります。また、今まで「入れようかどうか」と迷っていらっしやお客様からご質問をいただき、回答後、「なるほどそれでは入れてみよう」とお買い上げいただきました。大変ありがとうございました。

協賛興材のブースでは Microton の認定ショップ：茨城のフェラーリ専門店「ティノ」さんからフェラーリカップで活躍中の458チャレンジャーをお借りしました。3日間 Permaluxe で磨き上げられた458チャレンジャーは人気があり、Microton の Mascot であるマイク君とともに写真に収める来場者の方も多く見受けられました。来年も出展予定です、お楽しみに。

お台場旧車天国2016



11月20日、お台場：ご来店をお待ちしております

Microton NOW

スーパーマイクロロントリートメント

BLUE DELIGHT

PRO SHOP



PRO SHOP

ジムカーナサポーター 井本社長

チャレンジャー

大阪のチューニングショップチャレンジャーの先代の社長井本さんは Microton 取り扱い初めた当初、Microton 処理をした営業車のエンジンオイルを全部抜いて、営業先でオイルが入っていないことを確認してもらい、この状態で走ってきたと何度もお客さんを驚かしてきたエピソードの持ち主。この井本社長の説得力のあるパフォーマンスに魅せられてチャレンジャーには熱心な Microton ファンも多い。現在の社長：井本さんはそもそもチャレンジャーのお客だったそうで、ダンロップが主催するドライビングレッスンに来ていた講師の川脇選手にチャレンジャーを紹介されて Microton を初体験。当時乗っていたスズキのアルトワークスは注入後、エンジン音が太くなり、トルクアップした感じになり、すごく良かったことを覚えていそうです。しばらくして突然先代の社長に勧められてチャレンジャーの社員になることに。



●フェラーリのエンジンをマイクロロンスーパートリートメント

1. メタル部分をヒートガンで暖める80℃程度が最適
2. MicrotonXA をスプレーする
3. カムの部分にはアッセンブリーブリカントを綿棒で塗布
4. ハブのベアリングにはMicrotonハイテンプレグリース
5. 仕上げはアッセンブリーブリカント

HISTORIA-1

旧車に魅せられて：北名古屋のTHさん

マイクロロンの効果だ！オル切れのクルマで350km！無事に帰宅出来ました。



20年前から旧車をレストアを趣味としていました。雑誌「オートタイム」を第1号から今まで継続して購読しています。ときどきマイクロロンの広告を見てはおりましたが、気に留めたことはありませんでした。ところが5年前前にコロナをレストアした折にアイドリッドが不安定でどうやっても治りません。ダメもとで試してみようと思い、アイドリッドが安定しました。それから色々な車種を

レストアしていますが、すべてにマイクロロンを注入しています。

先日、輪島オートモビルミーティングに参加した時のことです。この時は4月にレストアが完了し、車検も取った48年式のホンダライフをマイクロロン処理して乗っていました。白煙が出ていたがオイル上がりのためだろうとそのまま往復700kmある輪島のイベントに名古屋から自走しました。念のため500kmのペトボトルに補充用オイルをもつて、道の駅で点検補充して往路を無事乗り切りました。イベントには楽しく参加したのですが、補充用オイルを使い切ってしまった帰りが大変です。レベルゲージのこの側に全然オイルが付着しません。夜中なのでスタンドでオイルを購入することもできず、オイル切れたまま自宅まで走り切れました。帰宅してオイルをリットル入れてみるとやっとならぬと側面にオイルを確認しました。帰路の350kmは殆どオイルレス走行をしてきたことになりました。

「良くもったー」と驚くと同時にマイクロロンのすごさを再認識しました。こんな素晴らしい商品がありありがとうございます。

HISTORIA-2

エンジンオイル空っぽでも平気で走る 驚異の添加剤 マイクロロン 東名を140km/hでノントラブル

(今やったら「教育的指導!!」ですね！)

1980年ホリデーオート3月号から

取材に行った編集者の目の前で Microton 処理したトヨタカローラのエンジンオイルを抜き取り、ノンオイルテストを行った記事が掲載されている。横浜ICから東名高速を走り、箱根ターンパイクを走ってまた横浜に戻って来る全長250kmのタフなコースを走破している。帰路の東名では140km/hまで出したが、エンジンは快調で、水温も上昇しない。エンジンノイズも少し低くなったようだし、パワーが上がったような気がする・・・と報告されている。

この時代はまだ本格的にマイクロロンが日本輸入される前の時代。製造会社も Microton Inc. ではなくその前身のケムロン社で、Microton のロゴも移行時期で2種類のロゴが使用されている。しかし、Microton の発揮する実力にびっくりしている様子はこの記事からも十分うかがえる。



川脇選手の跡を継ぐ野島選手

御縁があった全日本ジムカーナに参戦している川脇選手の専属メカになり、全日本ジムカーナを転戦。2006年には川脇選手が念願の年間チャンピオンになってこれまでのサポートが報われる。現在は川脇選手の車を受け継いだ野島選手をサポート中。

1000分の一秒を争うジムカーナで、Microton を処理しておくことでまず摺動部分のトラブルが少ない。コーナーでの傾きによるエンジンオイルの片寄りによる油膜切れから Microton は守ってくれ、特にエンジントラブルはほとんどない。それが一番有り難いとの事。Microton パワステも正確なステアリングワークを必要とされるジムカーナでは必須アイテムと言う。また、一般のお客様には 新車→慣らし運転終了→Microton 注入を行って、お客様にも心強いアイテムとなって喜ばれている。

お知らせ

本号からオンザロード読者にも本紙が配布されます。

バイクとクルマとアメリカンカルチャー満載のフリーマガジン「ON THE ROAD」 Microton の広告が紙面を飾る事も

